



# 志津南

## 12月号 news

志津南ホームページ  
http://shizu373.net

志津南学区の人口（11/5 現在）  
世帯数 2,343 総人口 6,386 人

発行  
志津南学区まちづくり協議会  
Tel(fax) 077-563-6206  
E-mail shizuminamimachi@gmail.com

会場でナンバーカードの申請をする参加者



### マイナンバーカード 盛況だった「申請ひろば」

志津南まちづくりセンターでは11月28日、草津市市民課主催の「マイナンバー申請受付ひろば」を開催しました。

これは、個人番号（マイナンバー）カードの普及促進を目的

に、市内の公共施設やふれあいまつりなどの行事で、準備物や事前予約は必要なく、その場でマイナンバーカードの申請ができるように、市民課の職員が出向き申請を受け付けるものです。

志津南まちづくりセンターでは、10月12日に開催予定でしたが、台風19号の影響で中止となり、今回改めて開催しました。

当日は、61人の申請者がありました。

さきり会館（かがやきの丘）に運び込まれる発電機や投光器など



## 発電機等を学区内6か所に配備 各町内会の防災活動に活用へ

志津南学区まちづくり協議会（花澤仁左エ門会長）は11月9日、6か所の学区内会館及び集会所に、発電機や投光器等一式を配備しました。

これらは、10月20日開催の防災フェスティバルで取り扱い説明や始動体験を実施しました。一時避難場所に指定されているまちづくりセンターをはじめ、かがやきの丘さきり会



☆イキイキ活動賞

11月30日、草津市コミュニティ事業団（まちづくり振興課）の令和元年度「ひとまちキラリ イキイキ活動賞授賞式」が草津市立まちづくりセンターで開催され、ホランティアグループ「泉」（藤田清子代表）が長年の高齢者支援活動が認められ、イキイキ活動賞を授賞しました。写真。

二人暮らしや昼間一人の



☆市政功労者表彰

この秋、学区内の人や団体が、その活動の功を認められ、相次いで表彰されました。

表彰式ラッシュに沸く

草津市では、行政や経済文化、社会などの分野で功績のあった人を、市政功労者として表彰しました。

11月3日、草津アミカホールで表彰式が行われ、写真、志津南学区から次の3氏が表彰されました。

◇自治功労 佐藤 有信さん（若草二）  
◇社会功労 喜田 久子さん（若草七）  
中地 耕一さん（若草一）



高齢者を誘い、月1回の食事会や春・秋のバスツアーといった交流を30年近く続

◆社会功労 喜田 久子さん（若草七）  
中地 耕一さん（若草一）

LED投光器4台、スタンド2台、エンジンオイル1缶、注入ボトル1本、家庭用ガスボンベ12本をワンセットで配備しました。

◆自治功労 佐藤 有信さん（若草二）  
◇社会功労 喜田 久子さん（若草七）  
中地 耕一さん（若草一）

11月15日、守山市の木テルニューオウミで令和元年度の滋賀県社会福祉協議会の表彰式が開催されました。

志津南学区社会福祉協議会は「地域福祉活動が優秀であって他の模範となる学区」として、会長賞を受賞しました。写真。

授賞式には上田会長、垣根民児協会長、小早川福祉委員の3名が参加しました。



☆県社協会長賞

今後は各町内会の防災訓練などで、運転テストを行ない、運用に備えていただきます。

けている活動が素晴らしい。民生委員と連携した対象高齢者の把握・見守りや、心のこもった案内状を一人ひとりに届けるなど、高齢社会における地域のあり方の参考となる活動に「ありがとう」を伝えたい」との言葉をいただきました。



絆チャリティバザー 盛況

ふれあいハウス「絆」は11月10日、第7回チャリティバザーを隣接の児童遊園で開催しました=写真。麗らかな秋晴れに恵まれ、開店を待ちわびて大勢の方が訪れ、大盛況でした。

今回も多くの方に衣類、食器、陶器、タオル、洗剤、本等、沢山の品々を提供していただきました。子ども用雑貨とハンチング帽子、手さげバッグ、シャドウボックス、アクセサリ、寄せ植えなど5店の手作りコーナーもありました。ご購入のハンチング帽子を被り笑顔の男性も。

家庭菜園グループの新鮮な野菜や豚汁の販売が人気で、盛り上がりました。

子どもコーナーではポップコーンを実演。香ばしい匂いと共にポンポンと軽やかな音を立てて跳ねるポップコーンを買った子ども達は、ハウス2階へ。漫画映画の鑑賞ですっかり映画館気分。

1階サロンでは買い物を終えた皆さんがゆったりとコーヒーで一杯。「こんないのが安く買ったわ」「素敵な手作りが出ていたわね」とにぎやかに話が弾んでいました。

今年も台風19号により各地に甚大な被害が出ました。厳しい寒さに向かう中、案じるばかりです。今回の売上金5万円を災害義援金として市社協を通じ日本赤十字へ送らせていただきました。

志津南学区環境美化委員会(石田治郎委員長)は11月9日、かがやき通り通学路清掃を実施しました。今年度2回目で、志津南小学校PTA、コーシーカーデ

美しく整えられたかがやき通りの通学路



3時間かけ通学路スツキリ

境美化委員、志津南環境美化ボランティアなど計46人が参加、約3時間かけて作業を行いました。

作業区域はかがやき通りのフレンドマート追分店前からスター若草店前交差点までの両側で、自動車の騒音の中、児童たちの笑顔と歓声を思い浮かべながらの作業でした。

歩道の足元まで伸びていたツタ、大きく歩道にはみ出した街路樹、大きく伸びた雑草などが取り除かれスツキリとした「かがやき通り通学路」となりました。

次回からは地域の人たちにも、もっと関心を寄せていただき、参加者を増やしたいと思います。(石田治郎)

よく学び、よく遊ぼう

地域サロン「なごみ会(浅野謙一代表)」は、毎月さまざまな講座やお楽しみを企画し、仲間と交流しています。



学ぶ 感染症

10月27日、かがやきの丘さりの会館で、健康講座「高齢者の感染症について」を開催しました=写真。13人が参加し、講師のあ

作業時間が短縮できるようにしたいと思います。

遊ぶ 沖繩ムード

11月21日、かがやきの丘さりの会館で、しづみなみんちゅの皆さんに来ていただき一緒に三線演奏や踊り、

講演後の種々の質問にもていねいに答えていただき有意義な講座でした。



沖繩のクイプスなどを体験しました=写真。参加者は民族衣装を着せてもらい一気に沖繩ムード。歌に合わせて「かんぱーい」と合いの手を入れて音頭をとりました。最後はやっぱり「琵琶湖周航の歌」をみんなで合唱。

気候の温暖な沖繩が感じられ、寒さを忘れて楽しい時間を過ごしました。



班別のピプスを着用しスケート靴の履き方から準備体操・転び方・起き方等について女性コーチから指導を受けてリンクへ入りました。最初は、手すりを持ちこわごわ滑っていた子ども達も、講習最後の頃には一人でリンク中央で滑れるように上達していました。

あつという間に上達 志津南学区地域協働校推進委員会(斎藤充浩委員長)は、11月16日、滋賀県立アイスアリーナで「スケートを楽しもう」を開催、子ども77人と大人24人(内14人スタッフ・協力員)が参加しました。

参加者は受付を済ませ、1時間の講習後は、フリー滑走。スケートをしない保護者は、2階の観覧席から見る事ができました。閉会式を行って滑走を終了しましたが「いっぱい転んだけど楽しかった」「また滑りに来たい」などの声が聞かれるなど楽しい体験となりました。

楽しそうに滑る子ども達

野草の味カ

ユキノシタ (ユキノシタ科)

雪の下に緑の葉があることから。葉を見て下さい。それが美葉種の由来です。花全体が特異な形態のため、蘭と誤認されます。近縁種の大文字草、人時草を見ればなおさらです。雪の下から摘んだ葉を天ぷらに。また、軽く茹でて各種和え物に。アクもなく、万人向きの野草です。冷たくて霜焼になる心配はご無用。この葉の汁は霜焼の特効薬なんですから。(藤井崇弘)

試してみる方は十分に安全を確かめて下さい

# 学びゆたかにみなみつき

志津南小学校(水野晃校長)の児童は、教室での授業以外にも、色々な活動を通じて学習を深めています。

## 音楽発表会



振りを変え元気に歌う児童

11月21日四時間目、全校音楽発表会を行いました。児童数の増加の関係で、昨年度からリハールの日を公開日とし、本番は児童のみで行うことになりました。20日の公開日には、たくさんの方の保護者に参観いただけ、子どもたちはさらに自信を深めました。

普段は体育等で子どもたちの元気な声が響く体育館



## 沖縄言葉

〈第9夜〉

那覇市の国際通りから市場通りに入ると、狭い通りの奥に有名な公設市場があります。

観光客だけでなく、地元の人たちも買い物に来ていて、おもちゃ箱をひっくり返したような雑然とした賑わい、その雰囲気が好きでよく訪れます。

店のおばあさんと客のおばあさんが話し込んでいるのが耳に

ですが、この日は、すてきな歌声や楽器の音色が響きました。

## 自然観察会



アドバイザーの説明を聞く三年生

11月13日、三年生が総合的な学習の一環として、自

然観察アドバイザーを講師に迎え、若草七丁目から遊歩道「りょうぶの道」に入り、さまざまな木やキノコを観察しました。りょうぶの道では、林道のそばに生えた木肌の模様を紙に写し取ったり、色とりどりの木の葉を見つけたりのネイチャーゲームを楽しみながら、自然の面白さを実感することができました。自分たちの生活圏からは、残っており、古語となった「東風(こち)や「南風(はえ)」が、「東風平(ちんだ)」や「南風原(はえはる)」という地名に残っていて面白いですね。



名護市の「為又」

交差点「お段」が「う段」になり、「つ」は「ち」に、「の」は「ん」に、「わ」は長音「ー」に変化していること。だから「おきなわ」は「うちなわ」と思われます。言葉の上からも沖縄はワンダーランドですね。(中原勝一)

入ってきますが、早口でも方言丸出しの会話は意味がよくわかりません。沖縄の方言は「沖縄口(うちなわち)とか「島言葉(しまくとぅば)」と呼ばれ、昔は敬遠される傾向にありましたが、近年は「島言葉を話そう」と、見直し運動が盛んになってきています。沖縄は多くの島々から成っています。当然少しずつ

豊かな自然があふれていることに驚き、その豊かさを大切にしたいと実感できた貴重な体験となりました。

## 秋晴れに存分に体動かす



秋を感じながらのウォーキング

志津南学区体育振興委員会(長谷川智貴委員長)は11月23日、チャレンジスポーツデーを開催しました。

午前、148人が参加しウォーキング。志津南小学校をスタートして、伯母川沿いに青山小学校まで上り、青山中央公園や松ヶ丘西公園で休憩を取りながら牟礼山頂上まで登り、再び志津南小学校に戻ってくる約6kmを歩きました。雲一つない秋晴れで、少し汗ばむ陽気になりました。緑道や牟礼山は紅葉しており、どんぐりなども落ちていて、秋の季節を感じながらのウォーキングでした。

午後、ディスコン大会。カーリングのようにディス

成績は次のとおりです。大人の部 優勝 かがやきの丘① 2位 かがやきの丘② 3位 若草八丁目・岡本町西合同

小学生の部 優勝 かがやきの丘② 2位 かがやきの丘① 3位 かがやきの丘③

栗東市で活躍されている「わくわくクラブだるまん」(富永明美代表)を迎え、楽しく過ごしました。だるまんは「子育ては、七転び八起きのだるま精神で何度でも立ち上がって、笑っていこう」とお金をかけず、楽しい時間を提供する子育て中8人のママさんボランティアグループです。パネルシアター、大きな絵本、まきまきシアター「はらぺこあおむし」等、12種類のメニューが次々と上演され、9か月から5歳までの子どもたちは、次は何かかな?興味津々で前へ前へと足が進んでいました。



## 興味津々、次は何?

志津南学区民生委員児童委員協議会は11月16日、志津南まちづくりセンターで、未就学児と保護者を対象に「親子ふれあい広場」を開催しました。写真。

お母さんと手をつないだ可愛い笑顔の子どもたちが集まりました。土曜日という日もあってお父さんの顔も見られ子どもさんをおやすほえまほえま様子も見られました。

未就学児に呼びかけましたが、近隣のことも園・保育園の行事と重なり参加者が少なく少し残念でした。最後に子どもたちは民児協からプレゼントをもらってにっこり、ハイタッチをして帰って行きました。

# 脳トレ、楽しくチャレンジ

やすらぎ学級第6回講座  
が11月27日、志津南まちづ  
くりセンターで開催され、

## 4色のあしぶみラダーに取り組む学級生



学級生26人が参加しました。  
「身体を動かして、楽し  
く脳トレ」と題し、講師  
に坂本正昇さ  
ん、笠本博之さ  
ん(若草二丁目)  
を招きました。  
まず「指先体  
操」で脳を活性  
化します。両手  
を広げた状態で  
親指から順に折  
り曲げ、簡単な  
ものから複雑な  
ものまでチャレ  
ンジしました。

次に、「間違い探し」や、「記  
憶力」を試す脳トレドリル。  
次は「お口の体操」「唾液腺  
マッサージ」。パタカラの「発  
声運動」は大きな声で、歯  
切れ良く繰り返し返します。

最後に国立長寿研オリジ  
ナルの赤・青・黄・緑の4  
色の「あしぶみラダー」で、  
認知症予防のための脳活性  
化運動「コグニサイズ」を  
行いました。2組に分かれ  
一、二、三、四と数えながら  
足を外に出し、青で拍手」  
など色々な課題に挑戦しま  
した。

## おいしく「フレイル」

志津南学区健康推進員連  
絡協議会(荒木キク工代表)  
は11月29日志津南まちづ  
くりセンターで、話題の「フ  
レイル予防」講習会を開催、  
51人が参加しました。写真。

「フレイル」とは、高齢者  
が心身の低下で要介護の状  
態に近づくことです。予防  
するには、低栄養にならない  
様、バランスの良い食事  
をとることが大切です。



「赤で足を外に出す」「赤で  
足を外に出し、青で拍手」  
など色々な課題に挑戦しま  
した。  
「楽しかった」「お口の体  
操は家でも続けます」など  
の声が聞かれました。

料理講習会を企画していま  
す。皆さまの参加をお待ち  
しています。

晩秋の琵琶湖を一周  
志津南学区老人クラブ連  
合会(鈴木明会長)は、11  
月28日、晩秋の琵琶湖一周  
バス旅行を実施。36人がお  
いしい食事と道の駅での買  
い物を楽しみました。写真。

今冬一番の木枯らしが吹  
き、曇り空で寒い日となり  
ましたが、バスは湖周道路  
を快適に進みました。  
白波のたつ湖面には渡り  
鳥が群れをなし、高波にも  
めげずふわふわ浮かび、バ  
ードウオッチングを楽しむ

## 史跡 果てしないロマンの旅

志津南まちづくりセンター  
は11月6日、第3回史跡  
探訪「近江と光秀ゆかりの  
場所を訪ねる」館外学習を  
実施、19人が参加しました。

今回もボランティアガイ  
ド野津隆さんのわかりやす  
い解説を聞きながら、まず  
安土城跡を登りました。天  
守閣完成3年後に焼失した  
という地は、天守や本丸跡  
の礎石だけが残っている夢  
の跡です。近年の発掘によ  
り見つかった羽柴秀吉邸跡  
や前田利家邸跡も確かな証  
拠は見つかっていないと伝  
えられています。

続いて1300年以上の  
歴史を持ち、山崎の合戦で  
当大社の犬上衆が応戦した  
という多賀大社にお参りし  
ました。明智光秀が本能寺  
の変あとに訪れ、生前最後  
に書いたという直筆の「禁  
制」が納められているとい  
います。その他、  
多くの武将が延命  
祈願を願ひ、信仰  
を集めた大社です。  
光秀の出生や生  
い立ちの確実な資  
料は皆無と言われ  
ています。ところ  
が近年、明智光秀



十二相神社(多賀)に向かう参加者

の近江國出生説が出てきて  
います。近江湖東の犬上郡  
多賀町佐目に十兵衛(光秀  
の異名)屋敷跡と呼ばれて  
きた場所が口伝えと文獻で  
一致したというのです。  
今も、美濃や近江には出  
生地とされるところが6ヶ  
所もあります。まさに、歴  
史は果てしないロマンです。

今回はこれらを考えたメ  
ニューの食事を作り提供し  
ました。又、人形を使い、  
口の中のマッサージや「パ  
タカラ体操」をして、オー  
ラルフレイルの予防も体験  
しました。  
塩分控えめでしたが、「お  
いしい」と好評でした。  
今回は「糖尿病予防」の

## 折々の記



性格に気をつけなさい  
それはいつか運命になる  
から。(マサ・テレサ)  
◇  
私は最後の最も大切な「運  
命」と言う言葉に心が「ド  
キッ」としました。人生を  
思考に気をつけなさい  
それはいつか言葉になる  
から。  
言葉に気をつけなさい  
それはいつか行動になる  
から。  
行動に気をつけなさい  
それはいつか習慣になる  
から。  
習慣に気をつけなさい  
それはいつか性格になる  
から。

## 好きな言葉

左右する運命って最初から  
決まっているのではないの  
ですね。運が良かった、悪  
かったと思う人生の最初は  
まず思考と言ふ事。  
思考とは普段意識せずに  
何気なく考えている事がほ  
とんどだと思います。自分  
の身のまわりの事や体調の  
事など心配したり、そして  
あまり気にせず言葉にして  
愚痴を言ってしまったら。  
まずは思いついた自分の気  
持ちや思考を明るく前向き  
な言葉にかえていくことを  
心がけたいと思います。  
マサ・テレサの言葉、美  
しい思考や言葉は運命と繋  
がっています。そしてつい  
つい忙しさに追われ身勝手  
になりがちな生活態度を心  
して見直し、最後はやっぱ  
り運のよかった運命で終わ  
りたいと願います。  
(Y・T)



食事処「北近江リゾート」  
でお腹を満たしました。  
午後は全山紅葉の美しい  
山間を走り、西浅井の道の  
駅「あじかまの郷」へ。奥  
びわ湖から雄大な湖を眺め  
た後「安曇川藤樹の郷」で  
も買い物を楽しみました。  
皆さんのパワーで雨にも  
会わず元気に帰途につきま  
した。  
パソコンの駅  
▽パソコンについての相談  
▽12月25日(水)、  
令和2年1月25日(土)  
13時~16時  
▽志津南まちづくりセンタ  
ーサロン